



観測史上最大の大雨被害を受け 行政書士と連携した罹災証明等発行支援を開始

このたびの大雨により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

宗像市では、8月9日から11日にかけて観測史上最大の降雨を記録し、市内各地で浸水等の被害が発生しました。このため、市は被災された方々の生活再建を迅速に支援するため、福岡県行政書士会と連携し、「罹災証明書」と「被害届出証明書」の発行支援を開始します。

この取組は、令和6年6月27日に福岡県行政書士会と宗像市が締結した「災害時における被災者支援のための行政書士業務に関する協定」によるものです。過去に同様の支援経験を持つ行政書士が受付業務を担当することで、被災者の皆さまの手続きが迅速に進むとともに、市職員は他の災害対応に集中できる体制を確保します。

市では今後も、被災者された方の支援に全力で取り組んでいきます。

【支援概要】

- 日 程 8月13日(水)～22日(金) ※土・日曜日を除く
時 間 9:00～16:30(13日は9:30から)
場 所 宗像市役所本館 1階ロビー
内 容 市民や事業者からの「罹災証明書」「被害届出証明書」の発行申請の受付
(市職員に替わり、行政書士2名が受付事務を実施)
利用方法 予約不要の先着順(無料)

【宗像市の状況】

宗像市では、8月9日～11日の3日間で累計607ミリの降雨を観測し、10日には観測史上最高の308ミリの降雨を記録。市内の田久地区、田熊地区等では床上浸水被害が発生。令和6年7月の大雨では30件の被害が確認されており、今回はそれを上回る被害が見込まれています。

【問い合わせ先】

宗像市危機管理課 担当：森由紀子 TEL:0940-36-5050

福岡県行政書士会 福岡北支部 支部長 木附憲之(きつき のりゆき)

TEL:0940-72-4410(ノック法務事務所内)